

全国協議会 ニュース

2025年2月1日発行 第390号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：梅田正造 題字：仲田順和
https://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

佐藤きち子基金 助成額累計 1 億円を突破

設立から30年 基金枯渇による3度の休止を乗り越えて

佐藤きち子記念造血細胞移植患者支援基金は本年1月に助成額累計1億円を突破しました。380人を超える方に移植に関わる費用を支援してきました。皆さまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

きち子さんとあやちゃんの 不滅の力を信じて

きち子基金の給付が1億円を超えました。私が佐藤きち子さんより、「金銭的なことで骨髄移植が受けられない方がいたら使ってください」と、300万円を託されたのは、1995年の新緑の頃ではなかったかと記憶しています。

30年の間には、資金枯渇により、申請受付の停止がありました。全国協議会の全組織をあげた取り組みと、骨髄バンク事業や骨髄移植を受ける患者さんへの全国の皆さんの応援の下、乗り越えてきたものです。基金の給付を受けて、病気を克服し、社会復帰を果たし、元気に過ごされている方も多いと思います。きち子さんとあやちゃんがつなぐことに尽力した命を大事にさせていただくことを願います。

あやちゃんの画集を、きち子さんがご覧になったことから始まった「きち子基金」ですが、その初心を守り、発展させてきた全国協議会と全国の加盟団体を中心となって、今後も継続できることを願います。私自身も全力で継続のために尽力したいと思いますが、すべての皆さまに、ご協力をお願いします、訴えとします。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

(骨髄バンクを支援する東京の会
三瓶和義：あやちゃんの父)

30年のご支援への 感謝とこれから

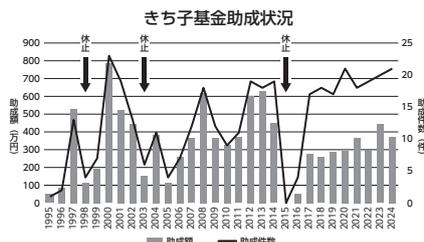
「経済的な理由で移植ができない患

者さんのために使ってください」と佐藤きち子さんから300万円を託された私達は、1995年「佐藤きち子基金」を創設して助成の受付を開始しました。

申請内容に患者負担金やドナーの差額ベッド代金が散見されることから、日本骨髄バンクに減免制度の拡充を申し入れるなどの活動につながりました。

当基金は貸付ではなく、寄付を集めながらの助成事業ですので、30年の間には基金が枯渇して申請受付を休止せざるを得ないことも3回ありました。多くの方のご支援で2016年10月から受付を再開した後は、毎年20人前後の患者さんに助成をしています。この1月に助成額累計1億円を突破いたしました。これまで協力してくださった全国の多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

休止期間中にお断りした患者さんへの思いを馳せ、これまでのご寄付に加え東京マラソンなどのイベントでのチャリティやクラウドファンディング、遺贈など、新たな資金調達の方法でも積極的に基金の積み増しに取り組み、二



1995年9月の設立から2014年の助成上限は50万円、2016年の受付再開からは30万円を上限として助成しています。

度と休止という事態は招かないようにしなければと決意を新たにしております。継続して患者支援活動ができますよう、今後ともよろしくお願ひします。(佐藤きち子基金運営委員長 菅早苗)

助成を受けた方からの メッセージ

子ども達が幼い頃に母子家庭になり、生活に余裕が無く医療保険に入らないままの子が中学1年の夏に白血病を発症しました。その後再発し、加入できる保険が無く、何の備えも出来ずに今回二度目の再発をしました。今回は成人していたので医療の助成も受けられずに長期入院をして移植を行いました。支払い額がかさみ困っていたところソーシャルワーカーの方から基金のことを教えていただき助成をしていただけて本当に感謝しております。

(近畿地方在住 患者のお母様)

クラウドファンディング挑戦中

佐藤きち子基金の安定した運営と各種患者支援活動に充当する資金調達のため3月31日(月)23時まで実施中です。ご支援と情報拡散をお願いいたします。



骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

(MONTHLY JMDF(1月15日発行)より抜粋)

■日本骨髄バンクの現状(2024年12月末現在)

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,478	2,735	562,867	988,165
患者登録者数	207	179	1,711	70,369
採取数	骨髄	64	36	26,860
	末梢血幹細胞	23	21	2,376
	合計	87	57	29,236

2023年4月から統計基準が移植件数から採取件数に変更

■12月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム/703人、献血併行型集団登録会/1,991人、集団登録会/0人、その他/41人

■12月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,900人/20代 97,276人/30代 137,320人
40代 211,406人/50代 111,965人

■12月の20歳未満の登録者328人

注)数値は速報値のため訂正する場合があります。

千葉の会 第一生命保険の第76回「保健文化賞」を受賞!!



千葉の会の皆さんと

この度千葉骨髓バンク推進連絡会(千葉の会)は、第一生命保険株式会社が1950年に創設した権威ある「保健文化賞」(第76回)を受賞しましたので報告します。

この賞はわが国の保健衛生向上のために役に立ちたいとの思いから、同社が保健衛生の分野で立派な業績と長年にわたり労苦をされた団体・個人に「感謝」と「敬意」を捧げるために創設したものです。創設当時は結核や栄養不足を、その後は生活習慣病対策、高齢者・障がい者福祉、国際保健、骨髓バンクボランティアなど、その時代におけるさまざまな課題に取り組まれた方々を顕彰しています。

第76回となる2024年度は、団体・個人合わせて34件の応募があり、団体10件、個人4名の受賞者が選定されました。受賞者には、2024年12月19日(木)、明治記念館で開催された

贈呈式で厚生労働大臣から表彰状、第一生命からは感謝状とともに賞金(団体200万円、個人100万円)、朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団からは記念品が、多数の招待客出席の中で授与されました。

その後会場を移し、祝賀会が開催されました。贈呈式、祝賀会には千葉の会を代表して私と北村美和子事務局長が出席しました。祝賀会では、贈呈式で贈呈・祝辞をされた厚生労働省仁木博文副大臣、朝日新聞厚生文化事業団藤井龍也理事長、NHK厚生文化事業団高橋正尚理事長、第一生命の稲垣精二会長、隅野俊亮社長、他多数の役員、賓客の方々、また受賞した他団体・個人の方々と親しく懇談しました。

翌日12月20日(金)は、受賞した団体の代表10名と個人4名(ご夫婦なので8名)の計18名が皇居に招かれ、バスで参内しました。千葉の会からは

私が出席させていただきました。皇居に着いてから宮内庁職員に一般参賀で皇族の方々がお立ちになる建屋の裏側にある中庭を案内いただき散策しました。その後バスで皇居奥の建屋に移動して、天皇・皇后両陛下に拝謁しました。両陛下は各代表・個人の一人ひとりに丁寧にお声を掛けて下さりました。各々が自己紹介をして、質問されたことに答えましたので数分はお話しました。拝謁は1時間近くもあり、充実した時間でした。

千葉の会の受賞は、1991年2月の結成以来30数年にわたる白血病等の血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や日本骨髓バンクを支援する活動、医療講演会・相談会の開催、「コンサートと落語会」「いのちの輝き展」等のイベント開催、ドナー助成制度・ドナー休暇制度の導入推進、パンフレット・会報等の発行による社会啓蒙、ケア帽子の製作・病院への寄贈活動、厚生労働省・日本赤十字社・日本骨髓バンク・千葉県・全国骨髓バンク推進連絡協議会での委員会活動を高く評価いただいたもので、会員一同大変光栄に思い喜んでます。また、推薦くださった千葉県に心からの感謝を申し上げます。

(千葉骨髓バンク推進連絡会 会長 梅田正造)

箱根駅伝の沿道各所で応援

お正月の晴天の下、第101回東京箱根間往復大学駅伝競走の沿道では、「骨髓バンク」のノボリを持って駅伝ランナーの応援、そして、お正月も自宅や病室で過ごす患者さんにTV画面を通して「ひとりじゃないよ」と声なきエールを送りました。

プルデンシャル生命保険株式会社の社員やご家族の皆さまには今年も大勢の方にご協力いただきました。支社の皆さまでの応援を終えたあとに、全国協議会のボランティアが活動している場所にも駆けつけ、寒い中大きな声援を送っていただきました。

埼玉、千葉、神奈川、東京のボランティアの方々もそれぞれの場所でノボリを持って応援・啓発活動に当たりま

した。

宮ノ下では活動開始早々から途切れることなく募金を頂き、患者さんへの思いと骨髓バンク事業へのご理解が根付いていることを実感しました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



宮ノ下ではブースで啓発



東京田町駅周辺でプルデンシャル生命の皆さまと



沿道での熱のこもった応援

1月20日(月)に第13期役員選考の第1回告示が発出されました。ご確認ください。

2025年1月20日

役員選考委員会委員長 水谷久美

特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会 第13期 役員選考のための第1回告示

1. 役員選考委員会 委員長：水谷久美 委員：笠原千夏子、北村美和子、三瓶和義、菅早苗、高土滋子

2. 役員の任期 2025年度通常総会終了後～2027年度通常総会終了

3. 役員の種別と員数

会長1名、副会長3名、理事14名（正会員の推薦を要する理事：全国区3名、地区8名、推薦を要しない公募理事3名）、監事2名
理事の地区定数：北海道1名、東北1名、関東甲信越2名、東海北陸1名、近畿1名、中四国1名、九州1名、計8名

4. 役員選考日程

第1回告示 2025年1月20日(月) ホームページに役員選考告示を掲載（全国協議会ニュース2月号にも掲載）

役員推薦書、立候補届の受付開始 2025年1月27日(月)

役員推薦書、立候補届の締め切り 2025年3月3日(月) 必着

第2回告示 2025年3月17日(月) ホームページに役員選考結果を掲載（全国協議会ニュース4月号にも掲載）

全国骨髓バンク推進連絡協議会 2025年度通常総会 2025年5月25日(日) 役員選任

5. 認定特定非営利活動法人の役員の条件について

特定非営利活動促進法の定めにより、次のいずれかに該当する方は、役員に就くことはできません（以下、特定非営利活動促進法より）。

第二十条（役員欠格事由）

次の各号のいずれかに該当する者は、特定非営利活動法人の役員になることができない。

一 成年被後見人又は被保佐人

二 破産者で復権を得ないもの

三 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から二年を経過しない者

四 この法律若しくは暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の規定（同法第三十二条の三第七項及び第三十二条の十一第一項の規定を除く。法第四十七条第一号ハにおいて同じ。）に違反したことにより、又は刑法第二百四十四条〔傷害〕、第二百六十六条〔傷害及び傷害致死の現場助勢〕、第二百八条〔暴行〕、第二百八条の二〔凶器準備集合及び結集〕、第二百二十二条〔脅迫〕若しくは第二百四十七条〔背任〕の罪若しくは暴力行為等処罰に関する法律の罪を犯したことにより、罰金の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から二年を経過しない者

五 暴力団の構成員等

六 法第四十三条の規定により設立の認証を取り消された特定非営利活動法人の解散当時の役員で、設立の認証を取り消された日から五年を経過しない者

第二十一条（役員親族等の排除）

役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が一人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の三分の一を超えて含まれることにはならない。

第四十七条（欠格事由）

第四十五条の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する特定非営利活動法人は、第四十四条第一項の認定を受けることができない。

一 その役員のうち、次のいずれかに該当する者があるもの

イ 認定特定非営利活動法人が第六十七条第一項若しくは第二項の規定により第四十四条第一項の認定を取り消された場合又は特例認定特定非営利活動法人が第六十七条第三項において準用する同条第一項若しくは第二項の規定により第五十八条第一項の特例認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前一年内に当該認定特定非営利活動法人又は当該特例認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から五年を経過しないもの

ロ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から五年を経過しない者

ハ この法律若しくは暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の規定に違反したことにより、若しくは刑法第二百四十四条、第二百六十六条、第二百八条、第二百八条の二、第二百二十二条若しくは第二百四十七条の罪若しくは暴力行為等処罰に関する法律の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律中偽りその他の不正の行為により国税若しくは地方税を免れ、納付せず、若しくはこれらの税の還付を受け、若しくはこれらの違反行為をしようとするに關する罪を定めた規定に違反したことにより、罰金の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から五年を経過しない者

ニ 暴力団の構成員等

6. 役員推薦書、立候補届の注意事項

(1) 必ず所定の届出書に記入して提出してください。届出書は下記の役員選考委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードしてください。

(2) 届出書に押印のうえ推薦書、立候補届を必ず簡易書留など追跡ができる方法で送付してください。

(3) 役員推薦に必要な推薦者（団体）の数は、会長3団体以上、副会長2団体以上、監事1団体以上、全国区推薦理事1団体以上、地区推薦理事 地区内1団体以上です。公募理事に推薦者は不要です。

(4) 役員推薦にあたっては、原則として候補者本人の内諾を得たうえで推薦してください。但し、会長、副会長、監事については内諾がなくても受け付けます。

以上

<連絡先・書類送付先：役員選考委員会事務局> 〒101-0031 千代田区東神田1-3-4 KTビル3階 全国骨髓バンク推進連絡協議会内

フォロワーさんの想いをつないで

「YouTuberとして活躍していた友人が白血病で亡くなった。治療費目的で集まった寄付（投げ銭）を同じ病で苦しむ方のために生かしたい」との連絡があり、ご寄付をいただきました。お父様とご友人からの言葉をお伝えします。

初めまして^{かがみぶち}鏡測と申します。

私の息子である鏡太郎はYouTubeで怪談活動をしておりました。令和2年4月に息子は急性骨髄性白血病と診断されました。同年9月、医師より脳に転移したことを告げられました。その後すぐ、息子は穏やかな笑顔で旅立って逝きました。

息子が配信していた時、多くのフォロワーさんより頑張って欲しいとのことで頂いた寄付金です。しかしながら、そのお金を使わせていただくことなく、息子は早くに旅立ってしまいま

した。ファンの方から頂いたお金を何に使うか迷いましたが、最終的に、息子を苦しめた病気と同じ病気で今も苦しんでいる患者様のお役に立てればという想いで、今回寄付させていただきました。

息子もきっと同じ想いでしょう。

お手隙の時でも息子のチャンネル「鏡太郎の怪談奇談」を視聴して頂ければ幸いです。（鏡太郎の父）

初めましてごまだんごと申します。

私は普段YouTube等で怪談を読ま

せていただいたり、蒐集する活動をしています。

私がまだ20代の時、同じくYouTubeで怪談活動をされている鏡太郎さんと出会いました。歳も同じで、すぐに意気投合し、お互いの夢を語り合う仲間になりました。しかし、彼は突然白血病を患い、道半ばで倒れてしまったのです。

ここから先何を書こうか迷いました。色々な想いがある、全てを書ききれませんでした。

ですが、彼に「生まれてきてくれてありがとう」という言葉だけは、今一度あらためて送りたいと思います。

また会えたら良いね。

また一緒に遊びたいね。

沢山ありがとう。

さようなら。

またね。

（ごまだんご）

各地のたより

各地のたよりを写真を添えてお寄せください。

大阪

大阪プロレス×献血、
骨髄バンク



大阪プロレス様は、試合会場での関西骨髄バンク推進協会によるギフトオブライフの配布や、募金活動の実施協

力の他に、リング上でお話しさせていただいたり、長年にわたりご協力をいただいております。

昨年11月には、大阪生野ライオンズクラブ様の記念アクティビティとして「骨髄バンク支援大阪プロレス興行」を2年連続で開催されました。多くの市民の方を無料でご招待し、熱き闘いで盛り上がりました。集まった募金から大阪生野ライオンズクラブ様と大阪プロレス様より当会へたくさんのご寄付もいただきました。

その後、昨年12月6日(金)には京橋駅前の献血、骨髄バンクドナー登録会場に大阪プロレスの選手が応援に駆けつけてくれました。献血の呼びかけだけにとどまらず、献血、骨髄バン

クドナー登録までほとんどの選手がおこなっていただきました。大阪プロレスファンの方々もたくさん献血、骨髄バンクドナー登録に来られ、このことがきっかけで初めて献血される方も多数おられました。

おかげ様で当日の骨髄バンクドナー登録者数は通常の2~3倍になり、大阪プロレス様の影響力の大きさに改めて感動いたしました。まさに身体を張って「命救う」、これこそ正義のヒーローだと思いました。力強く頼もしい皆さまの取り組みに私達もパワーをいただきました。ありがとうございます。

(関西骨髄バンク推進協会登録説明員 栄田慶子)

兵庫

第8回播磨地区
高校生バンドフェスティバル

今年で8回目の高校生主体のバンドフェスティバル(骨髄バンク支援クリスマスコンサート2024)を当センター主催で開催いたしました。最初は13校出演予定でしたが、インフルエンザの為、3校が欠席することになりましたが、10校で盛り上がりました。また、骨髄バンクのビデオや説明などを組み入れ、白血病など血液疾患で骨髄移植の必要な患者さんがたくさんおられること、また骨髄提供ドナーが55



歳で提供ができなくなるため、ドナーの確保もなかなか難しいことなど、来場された250名ほどの若年層の方々に説明できたことは本当に良かったと思います。

参加された高校生たちは、大きな会

場で思いっきり大きな声で歌えたことや演奏できたことを喜んでおられました。

このイベントを成功させるために、さくらライオンズ様、西ロータリークラブ様をはじめ、多くの方のご協力をいただいています。心より感謝申し上げます。

また、今年も12月に開催する予定です。応援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

(姫路地区骨髄バンク推進センター 濱田恵子)

知ろう、一緒に。AYA week

3月8日(土)から3月16日(日)まで「AYA世代の“がん”について想う1週間」と題し、



AYA week2025(主催: AYA week2025実行委員会)が開催されます。AYA世代とは15~39歳の、人生の中で多くの変化を体験する年代。その世代にがんを経験した方々、支援する人々を中心となって、がん教育企画など全国各地でさまざまな企画・発信が行われます。3月16日には東京、大阪、福岡で大交流会もオンラインと併せ開催

されます(要申込)。みんなでAYA世代のがんの「今まで」と「これから」を考える1週間に是非ご参加ください。

全国協議会も患者支援基金の周知などの活動を行います。

心からのご寄付に感謝申し上げます ●12月21日1月20日(敬称略)

当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般	●佐藤さち子造血細胞移植患者支援基金	株式会社フクヤ 現金 3,067円
ちびっとワンコイン	本田 真奈美 現金 5,000円	株式会社久美堂 現金 14,285円
現金 200,000円	日根 和美 現金 10,000円	箱根駅伝宮ノ下募金箱 現金 47,734円
三井化学株式会社	●志村大輔患者支援基金	●つながる募金
現金 200,000円	山先 恵子 現金 20,000円	現金 15,300円
株式会社エアネット	●募金箱	●キモチと。
現金 597,600円	株式会社クスリのアオキ 現金 1,131,124円	現金 7,168円
オークランド観光開発(株) 松永尚忠	株式会社マルト商事 現金 60,618円	●マンスリーサポート
藤波 敬子 現金 10,000円	株式会社ナルックス 現金 22,195円	現金 36,000円
アオヤマ ナナ 現金 1,000円		
匿名 現金 1,000円		

活動資金の支援をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754
普通 5666655

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会

郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。



AYA week2025HP
https://ayaweek.jp/2025/